

参考文献・資料

参考文献

- 1) 身体障害者、知的障害者及び精神障害者就業実態調査の調査結果について
厚生労働省発表平成20年1月18日
<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/01/h0118-2.html>
- 2) 精神障害者に対する職業訓練・指導技法等実践報告 職業訓練実践編
平成19年3月
独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構
- 3) 精神障害者に対する職業訓練の実践研究報告書
平成22年3月
独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構

資料

1. 調査依頼票
2. 精神障害のある人の職業訓練に関する調査（施設）
3. 精神障害のある人の職業訓練に関する調査（指導員）
4. 精神障害のある人の職業訓練に関する調査（訓練生）

◆ 調査のご協力をお願いいたします ◆

職業訓練（精神障害者）実態調査

このたびは本調査にご協力いただき、ありがとうございます。

本調査は、職業訓練を実施して頂いている方々に、最近増加の一途を辿っている精神障害者に対する訓練の実態をお伺いし、今後の精神障害者に対する訓練のあり方や問題点を洗い出し、計画や体制、指導方法等を含めた改善・見直しに生かしていくほか、国の職業訓練施策の基礎資料とすることを目的としています。

この調査の回答は、個人情報扱い等に留意し、情報が漏れるなど迷惑をおかけすることは一切ありませんので、ありのままにお答えくださいますよう、よろしくをお願いいたします。

1. 調査の概要

(1) 調査対象期間

平成 21 年 4 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日

(2) 調査方法

調査票への記入後、同封の封筒により返送していただきます。

(郵送料は事務局が負担します。)

(3) 調査内容

調査対象期間中の精神障害者に対する訓練状況等

※ この調査における「精神障害者」とは、「精神保健福祉手帳を所持しているもの」、「医師の診断により精神障害と診断されているもの」です。

2. 調査をお願いする方

調査する対象は、以下のとおりです。

貴施設において、調査期間中に精神障害のある訓練生を受け入れたことがない場合は、【様式 1】の記入できる項目を記入し、返信してください。

(1) 施設【様式 1】

貴施設での状態をお伺いします。回答は、訓練生の受け入れについての状況を把握している立場の方（訓練課長等）が行って下さい。

(2) 精神障害のある訓練生を指導している指導員【様式 2】

実際に精神障害のある訓練生を担当した指導員の方が行って下さい。

担当した方が複数いる場合は、可能な限り、それぞれの事例の記入をお願いいたします。

用紙が不足する場合は、恐れ入りますが、必要枚数をコピーしてご記入をお願いいたします。

なお、調査対象期間内で、異動前の施設において指導を体験されている場合は、その体験事例も記述をお願いいたします。

(3) 精神障害のある訓練生【様式3】

回答を頂くご本人に、調査の主旨と調査することを訓練生用調査書の署名にて確認を取ってからの実施をお願いいたします。

本調査の回答が難しいと判断される場合、或いは、ご本人の同意が得られない場合は、その方を調査対象から外していただいても結構です。その場合、施設における立場等、その後の訓練に影響なきよう、お取り計らいください。

用紙が不足する場合は、恐れ入りますが、必要枚数をコピーしてご記入をお願いいたします。

3. 調査期間

平成23年8月10日(水)～8月31日(水)

調査対象期間は平成23年8月31日までとします。提出後の期間に該当する質問には、見込みでお答えください。

4. 返送方法

記入された調査票は、同封の返信用封筒により、書留にて平成23年8月31日(水)までにお送りいただきますよう、よろしくお願いいたします。

(郵送料は事務局が負担します。)

【送付先】

〒252-5196 神奈川県相模原市緑区橋本台4-1-1

独立行政法人 雇用・能力開発機構

職業能力総合大学校 能力開発研究センター

在職者訓練研究室 あて

Tel 042-763-9085

精神障害のある人の職業訓練に関する調査（施設）

近年、精神障害のある方々の就労へのニーズが高まる中で、今後職業訓練校に対し入校希望者が増加するなど、職業訓練に対するニーズも増加すると予想されます。この調査は、職業訓練施設における精神障害のある訓練生の実態を調査し、今後の方策を検討するためのものです。

この調査票に記入された事項については、貴施設や対象者及び回答者について特定できる情報を公表することは絶対にないこと、また、目的外の使用も行なわないこととお約束いたします。

お忙しいところお手数をおかけいたしますが、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

<記入上の注意>

【回答者】

回答は、訓練生の受け入れについての状況を把握している立場にいる方が行って下さい。

【対象とする期間】

平成 23 年 8 月 31 日までの状況を対象とします。

該当がない場合は空白でご返答ください。

施設名：

回答者：

役職：

<調 査>

1. 貴施設が受け入れた訓練生の中で、精神障害のある訓練生の人数の内訳をご記入ください。

（ （ ） 内は、精神保健福祉手帳を持っている人の数 ）

（人）

	入 所		修 了	就 職	中途退所
		うち入所後に 把握した人数			
平成 21 年度入所	（ ）				
平成 22 年度入所	（ ）				
平成 23 年度入所	（ ）				

※ 「うち入所後に把握した人数」とは、入所後に「精神障害者」と判明した場合及び入所後に精神保健福祉手帳を取得した人の数です。

精神障害のある人の職業訓練に関する調査（施設）

2. 平成 23 年度入所生の疾病名をわかる範囲でご記入ください。

- | | |
|--------------------|---|
| a. 統合失調症 | 名 |
| b. 気分障害（うつ病、そううつ病） | 名 |
| c. てんかん | 名 |
| d. その他の疾病 | 名 |
| e. 不明 | 名 |

3. 精神障害のある人が貴施設に入校を希望した場合、入校選考の時点で、受け入れの決定に際し、通常の入校選考と異なる条件や基準を設定していますか。a、b の該当する項目に○を付けてください。

- a. 特に条件や基準を設定していない
b. 条件・基準がある

<その内容>

（精神障害保健福祉手帳の所持、医師の意見書等、入校選考時の条件を、具体的に記述してください。）

精神障害者のための特別コースの場合：

その他のコースの場合：

4. 精神障害のある人を受け入れる訓練科について伺います。

（1）精神障害者のための特別コースを用意している場合は、その概要をご記入ください。

コース名及びその概要：

（2）受け入れる訓練コースを特定していますか。a~d の中で該当する項目に○を付けてください。

- a. 精神障害者のための特別コースのみ
b. 特別コースの他に、いくつかの特定のコースで受け入れている
特定のコースでの受け入れ理由：
c. 特別コースを用意してはいるが、いくつかの特定のコースで受け入れている
特定のコースでの受け入れ理由：
d. 特に定めていない

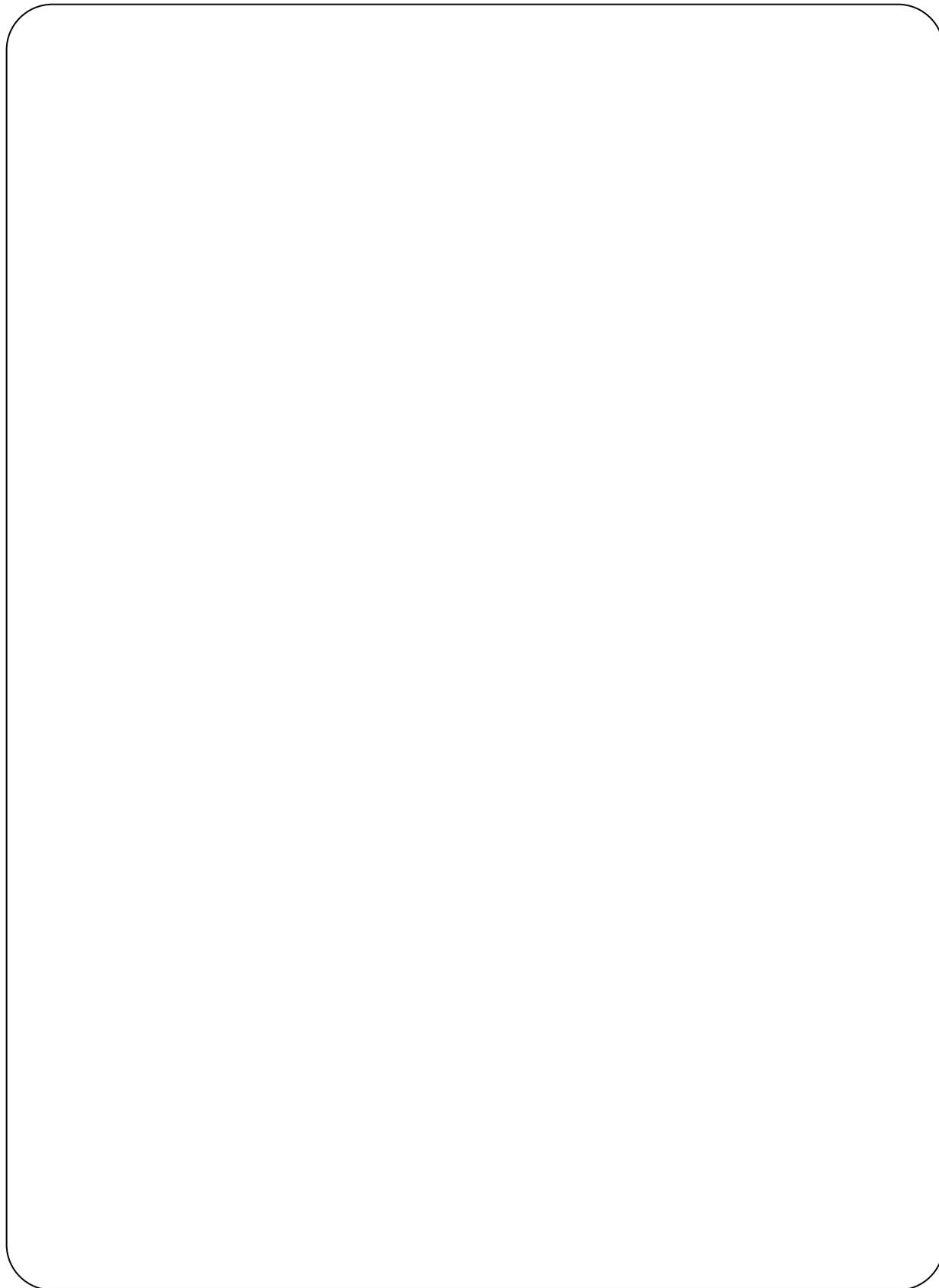
5. 精神障害のある人に訓練を実施するに当たり、健常者や身体障害者とは異なる対応を行っていますか。行っている場合はその項目を選び（複数選択可）、具体的な内容をご記入ください。

- a. 入校に際して、対象となる訓練生の特性（医療情報や生活状況等）の把握

- b. 訓練時間やカリキュラムの作成・変更
- c. 施設内での対策グループなどの設置
- d. 施設内での訓練担当者以外の相談等担当者の配置
- e. 指導方法、接し方などのマニュアル作成
- f. 訓練時間中の医療的サポート体制（嘱託医、保健師の配置など）
- g. 外部の支援者等を加えた定例会（構成メンバー、頻度など）
- h. 訓練生の家族との定期連絡
- i. 関係諸機関との連携（（ ）内は具体的な連携内容をご記入ください。 ）
 - ・病院（ ）
 - ・保健所（ ）
 - ・精神保健福祉センター（ ）
 - ・障害者職業センター（ ）
 - ・障害者就業・生活支援センター（ ）
 - ・作業所・就労移行支援センター（ ）
 - ・ハローワーク（ ）
 - ・その他（ ）
- j. その他の対応
- k. 特に特別な対応は行っていない。

精神障害のある人の職業訓練に関する調査（施設）

6. その他精神障害のある人に対する職業訓練に関して、現在困っていること、疑問に思っていること等、何かご意見などがございましたら、ご記入ください。



精神障害のある人の職業訓練に関する調査（指導員）

近年、精神障害のある方々の就労へのニーズが高まる中で、今後職業訓練校に対し、入校希望者が増加するなど、職業訓練に対するニーズも増加すると予想されます。この調査は、職業訓練施設における精神障害のある訓練生の実態を直接指導に当たっておられる指導員の方々にお伺いし、今後の方策を検討するためのものです。

この調査票に記入された事項については、貴施設や対象者及び回答者について特定できる情報を公表することは絶対にならないこと、また、目的外の使用も行なわないこととお約束いたします。

お忙しいところお手数をおかけいたしますが、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

<記入上の注意>

【回答について】

回答は、実際に精神障害のある訓練生を担当した指導員の方が行ってください。

担当した方が複数いる場合は、可能な限り、それぞれの事例をご記入ください。

なお、当調査の目的から、「精神障害者」は、「精神保健福祉手帳を所持しているもの」、「医師の診断により精神障害と診断されているもの」に加え、「明確な診断はなされていない所ではあるが、精神障害ではないかと判断されるもの」についても記述をお願いします。

また、調査対象期間内で、異動前の施設において指導を体験されている場合は、その体験事例も記述をお願いいたします。

【対象とする期間】

平成 23 年 8 月 31 日までの状況を対象とします。

施設名：

回答者：

担当コース：

<調 査>

1. 精神障害のある訓練生を対象に指導を行う際に、チーム支援体制や対応など、考慮した事項について、ご記入ください。

(1) カリキュラム（訓練時間、訓練内容など）に関して

精神障害のある人の職業訓練に関する調査（指導員）

(2) 指導方法等に関して

(3) 日常のコミュニケーションの取り方に関して

(4) 訓練生の体調把握及び悪化の予防に関して

(5) 訓練の成果とその評価方法について

(6) その他

精神障害のある人の職業訓練に関する調査（指導員）

2. 関係諸機関や家族との連絡、連携に関して具体的に何かあれば、ご記入をお願いいたします。なお、記入にあたっては、入校時、訓練期間中、修了後と時期を連携内容と併せて明記してご記入ください。

またよく連携する機関には、項目名に○印を付けてください。

- ・病院
()
- ・保健所
()
- ・精神保健福祉センター
()
- ・障害者職業センター
()
- ・障害者就業・生活支援センター
()
- ・作業所・就労移行支援事業所などの福祉施設
()
- ・ハローワーク
()
- ・家族
()
- ・その他
()

3. 精神障害のある訓練生の就職活動に関する指導や支援について、その内容をご記入ください。

(1) 精神障害のある訓練生のために、健常者や身体障害者の就職活動に関する指導や支援とは異なる指導や支援を行いましたか。(例えば 本人の希望と就職先のマッチングについて 等々)

(2) 精神障害のある訓練生の就職活動に関する指導や支援において、どのような手段や仕組みが有益だと思えますか。(例えば、専門スタッフとのチーム支援、就職後の定着支援について 等々)

精神障害のある人の職業訓練に関する調査（指導員）

4. 精神障害のある訓練生を対象に職業訓練を実施する際に、困ったこと、心配したことに関してご記入ください。

(1) 精神障害のある訓練生の入校選考等、入所前に際して

(2) 訓練期間中に関して

(3) 就職やその後のフォローアップに関して

5. 精神障害のある訓練生に対して職業訓練を実施する際に、指導員に必要な情報にはどのようなものがあると考えますか。

6. 精神障害のある訓練生を指導する際に、参考にしているものはありますか？

(1) 文 献

(2) 他の訓練校などの事例や研修等

(3) その他

7. その他、精神障害のある人に対する職業訓練に関して、ご意見や提案などがございましたら、ご記入ください。

職業訓練に関する調査（訓練生）

この調査は、現在、職業訓練を受けておいでの皆さまに、訓練を受ける上でのご希望や、お困りのことなどをお聞きし、これからの職業訓練をよりよいものにする参考とするための調査です。お答えしたくないことは無理にお答えにならなくてもかまいません。また、指導員やカウンセラーなど施設の職員とご相談されながら記入されてもかまいません。

調査内容をお書き頂いたら、この用紙を含め、封筒に入れて封をして担当職員にお渡しください。

お忙しいところお手数をおかけいたしますが、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

【個人情報の取り扱いについて】

私ども独立行政法人 雇用・能力開発機構は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第59号）を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。

今回ご提供いただく個人情報については、以下のとおり適切に取り扱うとともに、所定の利用目的の範囲内で利用させていただき、管理については、紛失、改ざん漏洩等の防止のための適切な措置を講じます。

○ 個人情報の利用について

ご提供いただいた個人情報は、当研究の分析のために利用いたします。あなたを特定できる情報を公表することは絶対にならないこと、また、目的外の使用も行なわないことをお約束いたします。

○ 個人情報の第三者への提供について

ご提供いただいた個人情報は、法令による場合を除き、ご本人の許諾なく第三者に開示・提供いたしません。

○ 対象とならなかった方の個人情報について

当研究の対象とならなかった方の個人情報については、調査作業終了後、適切な方法で廃棄・削除いたします。

独立行政法人 雇用・能力開発機構

職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター所長

< 確 認 > 平成 年 月 日

氏 名

施設名：

所属コース：

年齢：

就労経験： 有 ・ 無

<調査>

1. あなたは、どのような業種・職種に就職したいですか。また、そのために何を目標としていますか。

2. あなたが訓練を受ける中で、または訓練生活を営む中で、感じたことについてご記入ください。

(1) 良かったことはなんですか。

(例えば、始業時間が遅めで助かっている、人との接し方の訓練が役立っている 相談しやすい体制が用意されている 等々)

(2) 困ることはなんですか。

(例えば、訓練時間が長い、休み時間が短い、授業の進みかたが速い、お手洗いが近い、周囲の人の理解を得にくい 等々)

3. 今後、どのような訓練をうけたいと思いますか。また、訓練を受ける上で特に希望することはありますか。

(例えば、資格取得の訓練、手先を使う訓練、専門知識を得る訓練、コミュニケーションの訓練 等々)

精神障害のある人の職業訓練に関する調査（訓練生）

4. 訓練校において、あなたが安心していただける場所、時間はどんな時どんな場所ですか。
(例えば、仲間と一緒にいるとき、順調に作業が進んでいるとき、訓練が身についていると実感した時 等々)
5. 訓練校にいるとき、あなたがいつも心がけていることはなんですか。
(例えば、困った時には仲間や指導員に相談する、自身の状態を指導員伝えるようにしている 等々)
6. あなたが訓練校に求めるものはなんですか。
(例えば、より高度な内容を実践してほしい、実習先、就職先の企業の選択肢を広げてほしい、安定して1年間通える 等々)
7. その他、職業訓練に関することで、ご意見などがございましたら、ご記入ください。



お願い

今後、能力開発研究センターがより良い調査・研究を行うために、本書のご活用目的等に関して、以下の項目のご連絡を賜りますようお願い申し上げます。

ご連絡は、下記フォーマットで、郵送又はFAX（042-763-9048）でお願い致します。（ホームページ上からの受付も検討中）

ご連絡用フォーマット

項 目	記 入 欄
1) 使用目的	
2) 使用年月日	
3) 使用形態（紙のみ、OHP使用等）	
4) 使用者（所属、役職、氏名）	
5) 連絡先（住所、電話番号等）	
6) 本書を複製した場合、複製箇所、複製部数、複製形態（紙、OHP等）	
7) 本書に対するご意見、ご要望	

その他、お問い合わせは能力開発研究センター普及促進室（042-763-9155）にご連絡下さい。

本報告書等は、能力開発研究センター「職業能力開発ステーションサポートシステム
能力開発研究センター刊行物検索」から閲覧、ダウンロードができます。

URL : <http://www.tetras.uitec.jeed.or.jp/>

調査研究報告書 No.154

精神障害者に対する効果的な職業訓練に関する調査研究 - 報告書 -

発行	2012年3月
発行者	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター 所長 猪狩 安充 〒252-5196 神奈川県相模原市緑区橋本台4-1-1 電話 042-763-9155 (普及促進室)
印刷	株式会社 芳文社 〒194-0037 東京都町田市木曽西2-3-14 電話 042-792-3100

本書の著作権は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が有しております。

